

議会事業評価シート

【文教厚生委員会】

主要事業名	コミュニティ・スクール推進事業
方向性・提案	改善のうえ継続
これまでの事業に対する評価	・地域の方々が、子ども達の見守り活動等を積極的に行ってくださることは、教職員や PTA の負担軽減に大きく貢献しており、評価できる。また、このような活動を通じて、学校を支援したいという地域の方々の想いが育まれている点も、高く評価できる。 ・学校運営協議会、PTA、学校地域協働支援員等、各学校に関わる様々な組織の位置づけや役割が類似している部分があるため、互いの活動が干渉し、遠慮が生まれるケースも考えられる。 ・類似する組織が多数存在するために、教職員、特に事務局機能を担う教頭先生の負担が大きくなっていることが課題である。 ・半田市として、事業のビジョンが不明確であり、関わっているメンバーの中でも活動の意味や目的が十分に明確になっておらず、地域に合った活動内容も不明確な状況である。 ・委託費の用途に柔軟性がないため、活動が制限され、結果として、他組織の活動を支援するだけで終わってしまう状況もある。また、助成金制度はあるものの、周知が不十分であり、類似の補助金との違いも不明確である。
今後の取り組み方と提言	・学校運営協議会、PTA、学校地域協働支援員など、それぞれの組織の位置づけや役割を整理していただきたい。 ・各学校に対して先進的な取り組みや事例を共有することで活動の活性化を促進し、同時に、半田市としてコミュニティ・スクール事業のあるべき姿・ビジョンを明確に指し示すことで、学校と地域住民等が「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有できるようにしていただきたい。 ・類似する助成金制度を統合または廃止し、予算の見直しを行い、適正な予算規模を確保していただきたい。併せて、助成金制度の周知にも力を入れて取り組んでいただきたい。